

Jones 多項式からの各株式発行からの需要と供給、 株価の分配関数、多項式からナスダックへの金融機構の 株式発行のマクロとミクロの波及と流れ

高島彩さんの成蹊大学での経済理論の研究論文

Jones 多項式から各会社の株価への値打ちから日経平均株価への株価の価値の波及、東証株価指数 Topix の全銘柄からの全体の会社の指数からの平均株価の決定量、そして、アメリカの株式市場でのダウ平均株価の終値の収束 (戦略、reco level theory, 株式会社への) 全体 (株式会社への) 需要と供給。始値から終値への分配、この Jones 多項式の出力から終値への各同値類と剰余類からの部分群論の、各平均株価の推移率の予測、この応用は、1929年の世界恐慌がニューヨークダウ平均株価の暴落が、この Jones 多項式からの流れが、終値で破綻して、金融の共鳴力が、干渉してしまい、カタストロフィー現象として、金融の流れが乱れた結果であると、この論文から分析できる。

$$\begin{aligned}\hat{V} &= \frac{1}{\sqrt{t}}\vec{V} - \frac{1}{t}\hat{V} \\ \hat{V} &= \sqrt{t}\hat{V} - t\hat{V} \\ \hat{V}_k &= \sum_{\vec{\sigma}} \langle K | \vec{\sigma} \rangle \left(\sqrt{t} + \frac{1}{\sqrt{t}} \right)^{||\vec{\sigma}||} \\ &\quad \frac{1}{\sqrt{t}}\vec{V}, -\frac{1}{t}\hat{V}, \sqrt{t}\hat{V}, -t\vec{V}\end{aligned}$$

この4種類の式から、reco level theory が、アダム・スミスの神の見えざる手を経済理論のミクロとマクロ経済の具現化を実現させている。物理では、

$$\frac{d}{df} F = m(x) = e^f + e^{-f} = 2i \sin(ix \log x)$$

と、空間の仕組みが経済理論の場の理論にもなっている。周期関数とピンポイントリサーチが合わさっている。これらの式から、前半と後半の株式市場の流れが、シンメトリーとなっているために、後半の e^{-f} が破綻すると、シンメトリーのために、前半の e^f も破綻している状態になっている。全体が機能しないと、金融の流れが乱れていく。この破綻を回避するには、破綻が連鎖されている金融の周期をこれらの式から、調節が可能であることも、類推できる。破綻した周期を、正常であった周期に重ね合わせの原理で、ピンポイントリサーチで待って、金融の投資を正常な周期関数で合わせて、元の正常な周期にこれらの式から戻せることが可能と推測できる。